## まえがき

人口高齢化の進展により、一人暮らしや夫婦のみの高齢者世帯が増加するとともに、家族介護力の低下が指摘されている。このようななか、高齢者やその家族の地域での暮らしを支援するための施策が展開され、訪問型や通所型、短期入所型の居宅系サービスの拡充が進められてきた。一方、自宅での暮らしが困難な中・重度の要介護状態にある高齢者に対しては、入居型福祉施設が重要な役割を担い続けている。そして、その代表格ともいえるのが介護老人福祉施設である。

筆者は、介護保険制度が開始されて間もない 2000 年頃より介護老人福祉施設を対象とした研究活動に取り組んできた。当初は、入居者本人の施設サービス満足度に関する評価研究が中心であり、2007 年に実施した施設訪問による個別面接調査では、多くの入居者が施設で提供されるケアに対して肯定的に評価していることが明らかとなった。それは、バリアフリー化された安全な設備や建物、清潔で快適な生活空間、そして専門性の高い施設職員など、施設の優れた物的・人的機能が入居者への良質なケアの提供に発揮されているためであった。

また、施設サービス満足度評価とともに、筆者は介護保険サービスの相談対応等を行う第三者機関の専門相談員(非常勤)として、現在まで20年以上にわたり利用者やその家族のサービス利用に係る苦情等に向き合い、中立的な立場でその解決のための斡旋案を提示するなどの業務を担っている。しかし、これらの評価研究や専門相談員としての業務を通して入居者や施設職員の声を直接聞かせていただくなかで、入居者には買い物や散策、地域の行事やイベントへの参加など、地域社会との関わりをもつ機会が限られていること、また、施設職員も入居者の安全確保、さらに

は人員(マンパワー)不足の問題で外出支援が困難であることへのもどか しさ、施設に向けられる地域住民の偏見や苦情対応などへの悩みや不安を 抱えておられることが気になっていた。

現在,地域包括ケアシステムの推進に向けた施策が展開されているなか,居宅系サービスの拡充が必要不可欠であることは論を待たない。しかし,介護老人福祉施設も地域包括ケアシステムに内包された地域の社会資源である。このことに鑑みれば,介護老人福祉施設の役割は入居者へのケア提供に限定されるべきではない。介護老人福祉施設には,その優れた専門的機能を活用して地域貢献活動を行い,地域の多様な福祉ニーズに応えていくことが求められるのではないだろうか。このような問題意識に立ち、本書のテーマとしている研究活動に取り組んできた。

本書は、先行図書・学術論文および行政資料等を用いた文献研究である 第 I 部(第 1 章~第 2 章)、質的・量的調査で収集したデータを用いた調 査研究である第 II 部(第 3 章~第 6 章)、および序章と終章の計 8 章で構 成されている。序章では、研究の背景と目的、方法について取り上げると ともに、研究全体の枠組みを提示している。

第 I 部 (第 1 章~第 2 章) は、介護老人福祉施設による地域貢献活動への取り組みと関連施策の動向に焦点を当てている。第 1 章では、「施設の社会化」が議論された 1970 年代後半から 1980 年代前半にかけての地域貢献活動への取り組みについて、「施設機能の地域開放」の観点から文献整理を行うとともに、近年の地域包括ケアシステムの推進に向けた施策のなかで介護老人福祉施設がどのような位置づけにあるのか、また、地域の社会資源としてどのような役割と機能を担うべきなのかについて、『なぎさの福祉コミュニティ論』(岡本榮一)を理論的基盤とした論考を試みている。第 2 章では、2011 年からの社会福祉法人制度の見直しに向けた議論、そして 2016 年の社会福祉法改正による「地域での公益的な取組」に関する動向を整理しつつ、そこから介護老人福祉施設の経営実態を踏ま

えて地域貢献活動のあり方について検討している。

第Ⅱ部(第3章~第6章)は、介護老人福祉施設を対象とした質的・量的調査で収集したデータを多角的に分析し、その実証的知見について整理している。第3章(質的調査)では、地域貢献活動への取り組みについて施設の地域連携担当者が認識している意義と困難さを探索的に検討している。第4章から第6章(量的調査)では、地域貢献活動の実施状況に関する評価尺度がどのような下位領域で構成されているのか、また、何が地域貢献活動を促進(ないし阻害)しているのかについて明らかにしている。そして、終章では、介護老人福祉施設による地域貢献活動への取り組みにおける課題と展望について整理している。

介護老人福祉施設が、入居者へのケア提供とともに地域貢献活動に取り組むことは決して容易ではない。特に、職員不足が深刻な状況にある施設も多く、地域の福祉ニーズへの対応に力を注いでいくための余裕がないことも指摘されている。しかし、地域住民からの期待に応え、地域と良好な関係を形成していくことは施設経営の観点からも大切である。介護老人福祉施設が地域に開かれた福祉施設であり続けるために、本書が少しでも貢献できればと願っている。

## 介護老人福祉施設の機能と地域貢献活動

一地域包括ケアの推進に寄与する取り組み 一

目 次

まえた	がき	į
序章	章 研究の主題と本書の構成	,
1	研究背景 1	
2	研究目的 4	
3	研究方法 6	
4	本書の構成 7	
第	I 部 介護老人福祉施設による地域貢献活動への取り	
	組みと関連施策の動向	
筆 1	章 介護老人福祉施設の機能とその地域展開への取り組み ····· 12	)
1	本章の目的 <i>12</i>	
2	介護老人福祉施設の概要 15	
_	(1) 法的規定 15	
	(2) 運営実態 16	
3	介護老人福祉施設と地域社会との関係性 19	
J	(1) 地域福祉論での介護老人福祉施設の位置づけ 19	
	(2) 施設の社会化論(1970年代後半~)の論点整理 21	
	(3) "なぎさ" の福祉コミュニティ論 23	
4	地域包括ケアシステムにおける介護老人福祉施設の役割と機能	
4	地域包括ケテンハテムにおける介護セ八田田地政が入南と核形	)
		,
	(1) 介護老人福祉施設の機能の地域展開 29	
_	(2) 地域マネジメントの機能強化 31	
5	小 括 <i>32</i>	

第名	2 章		会福祉法人制度の見直しと介護老人福祉施設による地域貢献 動
1	1		の目的 <i>37</i>
-	2		福祉法人制度の見直しに向けた検討と社会福祉法改正までの
-		流れ	39
		<i>D</i> 16-1 -	内部留保と経営主体間のイコールフッティング 39
		(2)	社会福祉法人制度の見直しの論点および社会福祉法改正 44
ć	3	社会	福祉法人の「地域における公益的な取組」と地域貢献活動の関
		係	46
		(1)	「社会福祉法人の『地域における公益的な取組』について」(2015
			年 4 月 17 日通知) 46
		(2)	「社会福祉法人の『地域における公益的な取組』について」(2016
			年 6 月 1 日通知) 47
		(3)	「社会福祉法人による『地域における公益的な取組』の推進につい
			て」(2018年1月23日通知) 48
		(4)	「地域公益事業を含む地域における公益的な取組及び職員の処遇改
			善の取組の積極的な実施について」(2022年1月5日通知) 49
4	4	介護	老人福祉施設の経営実態に関する概況 50
Ę	5	介護	老人福祉施設を経営する社会福祉法人に求められる役割 53
(	6	小:	括 54
耸	ξΠ	I 部	介護老人福祉施設による地域貢献活動の実証的
_ A	, 11	r Hb	研究
** 6		<b>-</b> 1.1	
第3	3 耳	章 地	域貢献活動に対する施設担当職員の認識
			- 意義と困難さに着目して—
]	1	4草	の目的 60

2	研究方法 62
	(1) 調査対象 62
	(2) 調査方法 63
	(3) 倫理的配慮 63
	(4) 質問內容 63
	(5) 分析方法 64
3	研究結果 64
	(1) 地域貢献活動への取り組みにおける意義 64
	(2) 地域貢献活動への取り組みにおける困難さ 67
4	考 察 67
	(1) 地域貢献活動への取り組みにおける意義 67
	(2) 地域貢献活動への取り組みにおける困難さ 71
5	小 括 73
第4章	章 地域貢献活動の構造分析 ······ 76
第 <b>4</b> i	
1	本章の目的 76
1	本章の目的 76 研究方法 77
1	本章の目的 76 研究方法 77 (1) 調査対象 77
1	本章の目的 76 研究方法 77 (1) 調査対象 77 (2) 調査方法 77
1	本章の目的 76 研究方法 77 (1) 調査対象 77 (2) 調査方法 77 (3) 倫理的配慮 77
1	本章の目的 76 研究方法 77 (1) 調査対象 77 (2) 調査方法 77 (3) 倫理的配慮 77 (4) 調査項目 78
1 2	本章の目的 76 研究方法 77 (1) 調査対象 77 (2) 調査方法 77 (3) 倫理的配慮 77 (4) 調査項目 78 (5) 分析方法 80
1 2	本章の目的 76 研究方法 77 (1) 調査対象 77 (2) 調査方法 77 (3) 倫理的配慮 77 (4) 調査項目 78 (5) 分析方法 80 研究結果 82
1 2	本章の目的 76 研究方法 77 (1) 調査対象 77 (2) 調査方法 77 (3) 倫理的配慮 77 (4) 調査項目 78 (5) 分析方法 80 研究結果 82 (1) 調査対象施設および調査対象者の基本属性 82

	(1) 地域貢献活動の実施状況の項目別得点 92
	(2) 地域貢献活動の実施状況に関する因子構造 93
5	小 括 97
第5章	章 <b>地域貢献活動の関連要因</b> — 活動基盤の形成状況 — <i>100</i>
1	本章の目的 100
2	研究方法 102
	(1) 調査項目 102
	(2) 分析方法 103
3	研究結果 105
	(1) 記述統計量 105
	(2) 地域貢献活動のための活動基盤の形成状況の因子構造 106
	(3) 地域貢献活動のための活動基盤の形成状況と地域貢献活動の実施
	状況の関連 107
4	考 察 110
	(1) 地域貢献活動のための活動基盤の形成状況の項目別得点 110
	(2) 地域貢献活動の実施状況との関連の大きさ 111
5	小 括 114
第6章	章 地域貢献活動の関連要因
	— 地域の関係機関・団体等との連携状況 — ······ 116
1	本章の目的 116
2	研究方法 118
	(1) 調査項目 118
	(2) 分析方法 118
3	研究結果 120
	(1) 記述統計量 120

(2) 地域の関係機関・団体等の連携状況の因子構造 123
(3) 地域の関係機関・団体等との連携状況と地域貢献活動の実施状況
の関連 <i>125</i>
4 考 察 127
(1) 地域の関係機関・団体等との連携状況の項目別得点 127
(2) 地域貢献活動の実施状況との関連の大きさ 128
5 小 括 130
終 章 介護老人福祉施設による地域貢献活動の課題と展望 132
1 本章の目的 132
2 地域貢献活動の実施状況の評価尺度について 133
3 介護老人福祉施設による地域貢献活動の促進に向けて 134
(1) 地域貢献活動のための活動基盤づくり 134
(2) 地域の関係機関・団体等との連携 136
4 本研究の限界と今後の研究課題 137
あとがき ······ 14』
資料 1 本研究で使用した介護老人福祉施設による地域貢献活動に関する
調査票
資料 2 量的調査の調査票の自由記述欄に寄せられた意見一覧 155
+ 71